

生涯学習課長 齊藤 高市
 公民館長 //

歴史民俗資料館長 佐藤 春生

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じた多様な学習活動の振興のため、学習環境の整備及び学習機会の提供に関すること ・学習成果を活かすための活動の支援に関すること ・社会教育関係団体、青少年関係団体等への支援に関すること ・生涯スポーツの普及に関すること ・スポーツ関係団体の支援、人材育成に関すること ・郷土資料の収集、保存、調査研究、展示、教育普及に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
<p>講座やイベントは、学習活動を通して自身を高めたい、これから始めてみたい、知識や経験を活かしたいと考えている町民皆さんのために。団体の支援等については、文化的教養や青少年の健全育成のために組織的に取り組んでいる団体や町民のために。町内でスポーツをしている人やこれからスポーツをしようとしている人、スポーツに関わりたいと考えている全ての人のために。</p> <p>資料の収集、整理・保存、調査・研究や展示業務、様々な講座は、郷土の歴史文化に関心を持ち、教養を深め、自らの学習に活用する人のために。</p>		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	学習機会及び学習内容の充実	
指標名	生涯学習関連事業参加者満足度	
数値目標	初期値（令和5年度）	90.1%
	現状値（令和7年度）	94.3%
	目標値（令和8年度）	95.0%
	最終目標値（令和11年度）	95.0%
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	幅広い世代が参加できるよう町民のニーズに応えることができる充実した学習の機会を提供します。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
<p>充実した学習機会、学習内容を提供することで、住民は知識欲が満たされ、暮らしの充実感につながります。また、参加者同士の交流が生まれ、新たなコミュニティが生まれます。</p>		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
<p>生涯学習課、公民館、歴史民俗資料館がそれぞれ事業を行っており、事業参加者の満足度を見ると昨年度より増加しましたが、参加者の固定化が進んでいる事業があります。参加者の事業に対するニーズを分析し、反映していく必要があります。</p>		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
<p>住民の関心や社会生活を送る中で生じる課題のほか、世代毎のニーズにも目を向けた学習内容や学習機会を提供し、参加者の満足度向上を図ります。また幅広い世代の町民が参加できるよう生涯学習関連事業の情報を広報紙、ホームページ、町公式LINE等で発信していきます。</p>		